

第41回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和6年1月20日（土）14：00～

場 所：グループホームたなお

出席者：ご家族2名、高齢介護課職員、小池議員、GH管理者

1. 前回会議（11月19日分）からの運営状況について

1）入退居について（1/20日現在）

- ・入退居者 : 退去1名：希望の華 看取り 新規入居2名：希望の華
- ・待機状況 : 待機者15名（男性8名、女性7名）
※前回会議より新規申し込み2名・キャンセル1名
- ・入居者数 : 18名 夢の華 : 9名（男性1名・女性8名）
希望の華 : 9名（男性1名・女性8名）
70代…0名 80代…8名 90代…10名 100歳以上…0名
平均年齢：89.9歳（80歳～97歳）
平均入居日数：1433.9日（13日～2,482日）
介護度 : I…8名 II…3名 III…4名 IV…1名 V…1名 平均介護度：1.9
- ・月間稼働率：11月…92.2% 12月94.4%

2）職員の異動について

- ・退職者：12月夢ユニット正規職員2名、非常勤職員1名（看護職員）
- ・入職者：11月希望ユニット正規職員1名（特定技能実習生）、1月夢ユニット正規職員1名
- ・派遣スタッフ：夢ユニット：夜勤専従1名、希望ユニット：フルタイム1名

3）事故・急変・医療連携等について

☆事故・ヒヤリハット（7/15月～9/15日分集計）

- ・ヒヤリハット：転倒2件、薬のミス1件

計3件（前回比－2件）

※床に落ちているゴミを拾おうとして、そのままバランスを崩し床に倒れそうになる

※手引き歩行時膝折れし、倒れそうになるがスタッフが支える

※落葉に気づきすぐに

- ・事故発生状況：転倒8件、服薬ミス4件、

計11件（前回比－3件）

転倒8件中4件は同一の利用者、他4件は4名1件ずつ

※4件同一の転倒は、職員が他者介助中などに一人で立ち上がってバランスを崩しての転倒が3件、スタッフが気づき支えようとしたが、支え切れずに転倒が1件

※歩行時職員の介助を嫌がり、その際バランスを崩し転倒が1件

- ※夜間自己にてトイレに行かれ、その際トイレ内でバランスを崩し転倒が1件
- ※自立している人が居室内でベットから車椅子へ移乗する際に、座り損ねて転倒が1件
- ※歩行自立の方が、リビングで移動中足がもつれ転倒が1件
- 薬のミス4件
- ※朝食薬の内服忘れが1件、（夕食薬セット時に朝食薬が残っている事に気づく）
- ※朝食後薬の落薬事故が3件、内1件は口の中に入れた後、本人が口から出して床に捨てる

※急変・医療連携等（11月19日～1月19日分）

- ・救急搬送 : 1名 ※現在入院中
- ・盛田歯科訪問診療 : 3名
- ・訪問看護（笑福） : 週1回、
: 1回救急搬送に関する電話相談あり
- ・看護師コール対応 : 2回（個別訪問看護師来訪対応）※1回看取り対応
- ・1名個別で訪問看護と訪問リハビリ利用（現在退去により終了）
- ・1月2日夢ユニット入居者1名コロナ陽性 症状の悪化は無し

4）身体拘束・虐待防止について

- ・身体拘束、虐待防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし

5）イベント関係について（11月19日～1月19日分）

- ・来訪イベント：わんとほーむ（動物介在）、
- ・個別外出：散歩、公園等
- ・クリスマス料理、おせち作り

6）新型コロナウイルス・インフルエンザ感染拡大防止対策

☆感染予防対策

- ・手指消毒の徹底、定期的な換気、次亜塩素酸水噴霧
- ・職員のマスクは状況に応じて
- ・面会に関して現在制限なし、面会時面会者はマスク着用依頼
- ・理容に関しては訪問理容を利用している。
- ・個別外出は密にならない場所のみ。
- ・買い物に関しては少しずつ状況を見ながら再開している

☆12月職員1名インフルエンザ感染

☆1月入居者1名、職員1名コロナ感染

7）研修参加状況（11月19日～1月19日分）

オンライン法定研修参加（7月～8月分）

- ・11月 緊急時の対応 : 9割の職員が受講
- ・12月 個人情報及びプライバシーの保護 : 8割の職員が受講

- ・介護職員初任者研修 : 1名受講中
実習受け入れ
- ・日本福祉大学 : 1段階実習受け入れ 12月で終了 計3名

8) 地域・行政との連携

- ・碧南市認知症初期集中支援チーム・チーム員会議出席
- ・碧南市サービス機関連絡協議会役員会出席
- ・オレンジファミリー碧参加

9) 認知症伴走型支援事業について

- ・11月相談対応件数 延べ3件
- ・12月相談対応件数 延べ8件

10) その他、意見交換

- ・夜間帯のトイレ内の転倒などはどのように発見するのか？
⇒夜間帯は居室・トイレのドアが開く音や歩く音などである程度分かるが、その他廊下にカメラが付いている為、夜間帯はアイパッドのモニターでトイレなどの覚醒者の把握をしている。
- ・薬のミスが何件かある為、注意するようにして欲しい
⇒色々対策は立てているが、特に夜勤明けなど職員一人の時に多い
- ・人の入れ替わりが多いが、介護業界の離職率はどのくらいか？
⇒弊社は今年度特に離職率が高く、人の入れ替わりもかなり多い状況。人員不足の中で新しい職員を採用しても十分な教育やサポートが出来ず、短期間での離職に繋がってしまったり、人員が少ない中での業務で一人一人のスタッフに負荷がかかってしまい離職に繋がるなど悪循環になっている。
⇒介護業界全体的に慢性的な人員不足となっており、人員が確保できない事で事業所を閉鎖したり、ユニット数を縮小したりしている事業所もある。弊社も開設時は新規オープン施設という事で人員も集まりやすかったが、年数が経つと募集をしてもなかなか応募が無い、また大きな施設に比べ小規模の事業所では給与水準もどうしても低くなってしまいう為、余計に集まりにくい状況となっている。現状は特定技能実習生や派遣職員などを活用しながら人員の確保に努めている
- ・カメラなどの導入には補助があるのか？
⇒県のIT補助金などはあるが、弊社は補助金の活用はしなかった。もともと虐待防止の抑止や利用者の中には特に何もしていなくても大きな声で「助けてー」という方もいて、外部から虐待が疑われて際に、スタッフ自身の身を守る目的でも導入した。現在は転倒などが起きた際に状況を確認する事や、職員の教育の部分でもカメラの録画を活用している。

次回：令和6年3月16日（土）14：00～